

科目名	交通工学 Traffic Engineering	科目コード	51640
-----	------------------------------------	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・5年（プログラム2年）
担当教員	宮腰和弘（環境都市工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・1単位
開講時期・時間数	前期，30時間【内訳：講義28，その他2】
教科書	交通システム工学 大橋他 コロナ社 2009
補助教材	プリント
参考書	都市交通計画第二版，技報堂，大蔵泉，交通工学，コロナ社，1993

【A. 科目の概要と関連性】

道路の交通を中心にハードウェアだけでなく利用面から見た道路についての理解を深め、社会的役割と実態を把握し、交通工学的な考え方もふまえ、その他の交通機関との関連、都市交通について考える。

○関連する科目：応用交通工学（次年度履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①道路と交通の概要を理解する。	20%	(d1)
②交通計画と四段階推定の概要を理解する。	40%	(d1)
③パーソントリップ等の調査をとおして交通を理解する。	40%	(d4)

【C. 履修上の注意】

自分が毎日利用している道路や交通機関に対して注意を払って観察する。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（85%）【内訳：前期末85】
- レポート（15%）

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	道路と社会、道路の歴史	
2	道路の分類、道路に関連した法律	
3	道路管理	
4	交通の概要	
5	交通計画	
6	〃	
7	都市交通	
8	パーソントリップ調査	
9	〃	
10	四段階推定法	
11	〃	
12	〃	
13	交通流特性、交通流の表現	
14	交通容量	
一	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	